

2 東京法学院院友總會及び懇親会の景況

〔『法学新報』第一号 明治二十四年四月二十五日〕

○東京法学院々友總會及び懇親会の景況

去る七日東京法学院の大講義室に於て院友總會の催あり山田喜之助、松野貞一郎、田中隆三氏等を始とし凡そ百余名出席し午前九時理事花井氏報告を為し畢るや直に山田氏議長の席に就き會議を開く院友井上八重吉、中村龜夫、花井卓藏、鳥居錦次郎、坂本武治、依田弘氏等より提出したる建議案を議了し理事の改選を行ひ奥田義人、田中隆三、花井卓藏、坂本武治、依田弘、妻戸政吉、橋倉次雄の七氏投票多数にて当選し井上、中村二氏の建議案に付ては委員七名に付托することとなり花井、卜部、三村、井上、永瀧、橋倉、妻戸の七氏其選に当り又花井、鳥居二氏の建議案に付ても凡て委員に付托することとなり山田、花井、鳥居、卜部、坂本、三羽、依田、中村、井上の十氏其撰に当れり偕て議事中には胸懷に蔵したる智謀を洩すの人あれば時に応じて発するの権略を通さんとするの士もありて甲論乙駁中々に纏るべくも見えさりしが流星は学者の会合とて程克く折合

も付き午後一時頃に至りては議事悉く其局を結ひければ車輪齣々諸氏は去て浅草鷗遊館に向へり鷗遊館は当日院友懇親を温むるの処、午後三時人も揃ひ杯盤の用意も調ひければ互に膝打ち崩して酒酌みかわし酔中の笑語も自ら情真を見めし中にも松野、山田二君の演説は大に坐興を添へ黄昏過くる頃各々帰路上りたり